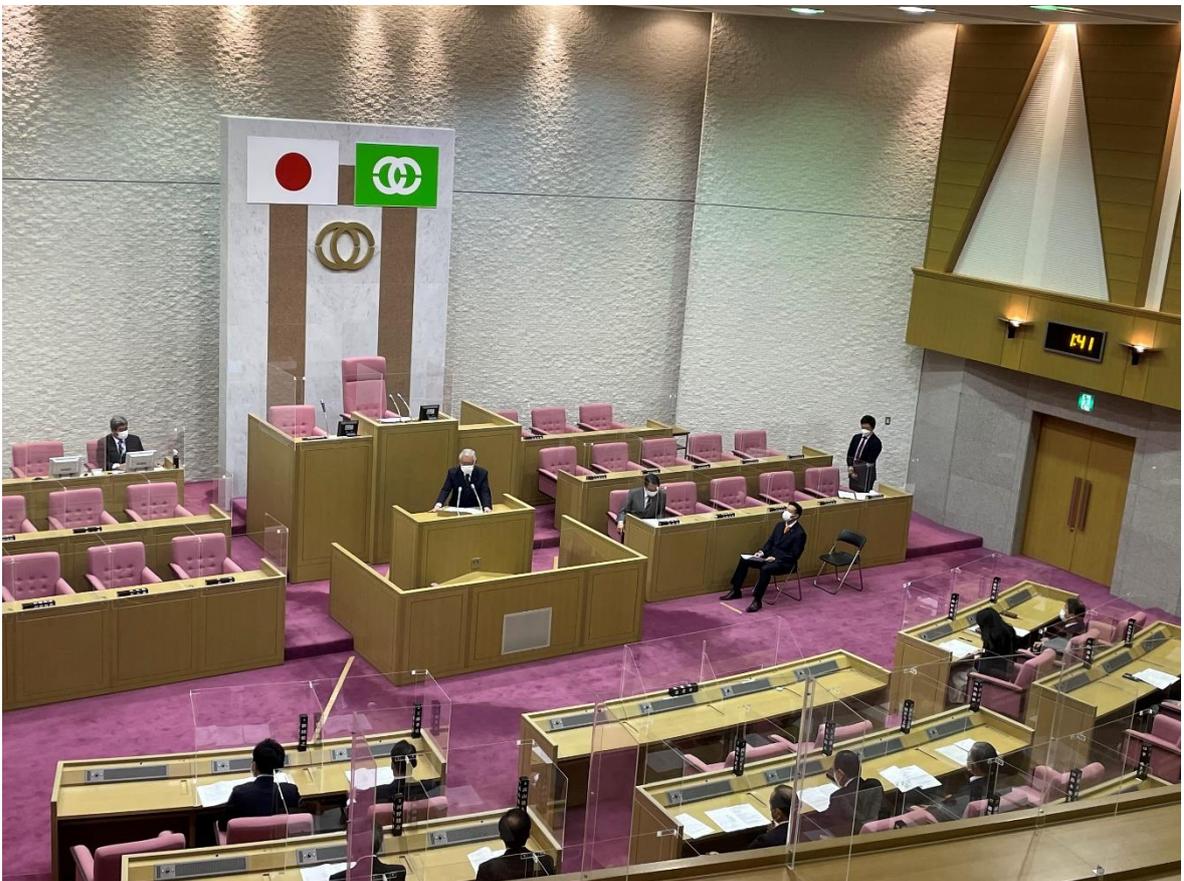


# 第6回 茂原市議会報告会



撮影：令和4年2月 1日（火） 13：30～ 議場

配信：令和4年2月15日（火） 9：00～ 市議会ウェブページ

## 目 次

### 【議事概要】

1. 開会のことば 田畑 毅 副議長 .....	p. 2
2. 議長挨拶 中山 和夫 議長 .....	p. 2
3. 議会報告会趣旨説明 杉浦 康一 議会運営委員会委員長 .....	p. 2
4. 議会報告	
(1) 常任委員会の審議について (令和3年3月定例会から令和3年12月定例会)	
・総務委員会 向後 研二 委員長 .....	p. 3
・教育福祉委員会 鈴木 敏文 委員長 .....	p. 4
・建設経済委員会 金坂 道人 委員長 .....	p. 5
(2) 特別委員会の審議について	
・水害対策特別委員会 常泉 健一 委員長 .....	p. 7
・茂原駅周辺活性化特別委員会 鈴木 敏文 委員長 .....	p. 9
5. 意見紹介 西ヶ谷 正士 議会運営委員会副委員長 .....	p. 10
6. 閉会のことば 田畑 毅 副議長 .....	p. 11
7. アンケート集計結果 .....	p. 12

## **【議事要旨】**

### **1. 開会のことば**

田畑 毅 副議長 （略）

### **2. 議長挨拶 （要旨）**

中山 和夫 議長

茂原市議会では、地方分権の推進に併せ、議会改革を進めてきた。その一環として、私たち地方議員のあるべき姿、果たすべき役割、そして、達成すべき使命を明確にした「茂原市議会基本条例」を制定し、より開かれた議会、市民の皆様信頼される議会を目指してきた。さらに、平成28年9月定例会から、広く皆様に議会活動を知っていただけるよう、インターネットでの本会議のライブ中継、録画配信を開始した。また、議案に対する議員個人の賛否の公表や政務活動費のウェブページでの公開など、議会の活性化に積極的に取り組んでいる。今後も更なる議会改革及び情報発信に努めていく。

今回の議会報告会は、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、オンラインでの実施となった。令和3年3月定例会から12月定例会の各常任委員会に付託された案件及び、特別委員会の審議内容について報告する。

議会活動のほんの一端ではあるが、議会をより身近なものに感じてもらいたい。

### **3. 議会報告会趣旨説明 （要旨）**

杉浦 康一 議会運営委員会委員長

茂原市議会基本条例で述べられているとおり、議会の「説明責任を果たすとともに、市民のみなさまの多様な意見を的確に把握するための情報及び意見交換の場として」、このたび、第6回の議会報告会を開催することとなった。

今回も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、会場での報告会ではなく、昨年と同様に、インターネットによる録画配信での報告会とした。

まず、「議会報告」として、総務、教育福祉、建設経済委員会の各常任委員会の委員長より、昨年1年間に開催した各常任委員会の報告を、続いて、水害対策、茂原駅周辺活性化の各特別委員会の委員長より、昨年1年間に開催した各特別委員会の報告を行う。最後に、「意見紹介」として、市民からの意見の一部を紹介する。

#### **4. 議会報告**

##### **(1) 常任委員会の審議について**

**(令和3年3月から令和3年12月定例会)**

#### **○総務委員会**

**【報告者】 向後 研二 委員長**

**所管事項及び委員紹介 (略)**

昨年中に開催された各定例会において、本委員会が審査した議案等16件について、抜粋してその主なものを報告。

##### **①6月定例会 議案第1号「令和3年度茂原市一般会計補正予算(第2号)」**

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9,585万8千円を追加しようとするもので、財産管理運営費の光熱水費は、レイクウッズガーデンひめはるの里の維持管理にかかるものであり、バードパラダイスがあった施設の東にある池の水を循環させるモーターのポンプ動力や、夜間の照明、水道水の利用などに要する費用として計上されたことを確認した。また、土地借上料に係る地権者は、法人を含め14名であること、市で購入する意向はなく、新しい事業者が決定した際、借地部分が必要であるかを確認し、不要な部分は地権者に返還、ニチグリーンファームが建てた建物は、民有地上のものは撤去、市有地上の利用できる建物は無償譲渡してもらうことで検討していることを確認した。なお、サウンディングの結果をふまえ、事業者を検討しているが、現時点では未定であることも確認した。これらの審議の結果、本議案は委員会・本会議ともに全会一致

で可決された。

## ② 12月定例会 議案第2号「令和3年度茂原市一般会計補正予算（第9号）」

本案は、子育て世帯への臨時特別給付金に関し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億7,562万4千円を追加しようとするもので、児童手当を受給している16歳未満の兄弟がいる場合、16歳～18歳は申請の必要が無く、16歳未満と合わせて年内12月24日に支給することや、高校生以外は就労しているかどうかは関係なく、親に養育されていれば支給対象となること、申請期限は令和4年2月末までとしたいことを確認した。また、全体で10万円支給のうち、今回の先行給付金5万円は国から通知があり事務を進めているが、残りの5万円は国の通知があり次第対応していくことなどを確認した。これらの審議の結果、本議案は委員会・本会議ともに全会一致で可決された。

以上2件以外の議案は、一般会計の補正予算が3件、条例の制定並びに改正が3件、その他1件で、これら7件の議案についても、委員会並びに本会議において全会一致で可決された。

## ○教育福祉委員会

【報告者】鈴木 敏文 委員長

所管事項及び委員紹介（略）

昨年中に開催された各定例会において、本委員会が審査した議案等30件について、抜粋してその主なものを報告。

## ① 6月定例会 陳情第3号「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する陳情」並びに陳情第4号「義務教育費国庫負担制度に関する意見書採択に関する陳情」

これらの陳情は、昨今の様々な教育課題を解決し、子どもたちのより良い教育を保障するための予算の充実と、義務教育費国庫負担制度を守るため、政府及び関係行政官庁に対し、意見書の提出を議会に求めるもので、審査において、毎年提出

される本意見書の成果や、教育予算の厳しい状況への質疑、意見があった。審議の結果、陳情第3号並びに陳情第4号については、いずれも委員会・本会議ともに全会一致で採択され、意見書の提出に関する発議案も、本会議において全会一致で可決された。

## **②9月定例会 認定案第2号「令和2年度 茂原市特別会計 国民健康保険事業費 歳入歳出決算認定について」**

本特別会計の決算は、歳入総額109億288万9,803円に対し、歳出総額95億4,933万5,223円で、歳入歳出差引額13億5,355万4,580円の黒字決算であり、審査において、県に納付金を納めることへの効果や、滞納者に対する質疑、国保財政の適正化や健全化への意見等があった。審議の結果、委員会では全会一致で認定、本会議でも賛成多数で認定された。

## **○建設経済委員会**

**【報告者】金坂 道人 委員長**

所管事項及び委員紹介 (略)

昨年中に開催された各定例会において、本委員会が審査を行った議案等35件について、抜粋してその主なものを報告。

## **①3月定例会 議案第15号「茂原市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の制定について」**

審査において、条例による埋立て許可の面積や高さの規制についての質疑応答がなされた。これらの審査の結果、本議案は委員会・本会議ともに、全会一致で可決された。

## **②9月定例会 議案第7号 「財産の取得について」**

本議案は、東郷地先水門排水ポンプと長清水水門排水ポンプの2カ所の停電時の際や、避難所や災害本部への電力供給をするために移動電源車を購入するもの

であり、審査においては、移動電源車の出力や使用目的について質疑応答がなされた。これらの審議の結果、本議案は委員会・本会議ともに、賛成多数により可決された。

### ③ 12月定例会 議案第12号「茂原市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

本議案は当初住居系の土地利用地区であったが、住宅需要の減少や商業系の出店形態が変わったことによる建築物制限を用途変更するものであり、審査においては、住居系から商業系へ用途変更することについての質疑応答がなされた。これらの審議の結果、本議案は委員会・本会議ともに、全会一致で可決された。

以上3件以外の案件は、陳情1件、認定案3件、特別会計及び公営企業会計の予算が3件、公営企業会計の補正予算が3件、条例の制定並びに改正が13件、その他9件で、これら35件の議案等のうち34件については委員会並びに本会議において全会一致で可決され、1件の議案については、委員会並びに本会議において賛成多数で可決された。

続いて、各特別委員会の報告に入る前に、昨年審議した議案等のうち、各常任委員会に付託されなかったものの中から、主なものを杉浦議運委員長から報告。

はじめに、9月定例会の発議案第2号「二級河川 一宮川水系河川の整備促進に関する意見書の提出」及び発議案第3号「二級河川 赤目川の整備促進に関する意見書の提出」については、本市における最優先課題である浸水被害の解消を図り、市民の生命と財産を守るため、河川改修の整備促進とそのため的大幅な予算の確保を要望すべく、国及び県へ意見書を提出しようとするもので、本会議において、全会一致で可決された。国土交通省、財務省、千葉県へ意見書を提出するとともに、令和3年12月22日には、中山議長をはじめとする議員団が千葉県選出の

国会議員に要望書を提出し、意見交換を行った。

次に、12月定例会の発議案第1号「議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、議会の議員の期末手当の支給割合を、茂原市一般職職員との均衡を考慮し、議員自ら0.15カ月分削減するもので、本会議において、全会一致で可決された。

## **(2) 特別委員会の審議について**

### **○水害対策特別委員会**

**【報告者】常泉 健一 委員長**

**委員紹介 (略)**

令和3年8月23日に、千葉県県土整備部職員及び市当局職員の出席のもと委員会を開催。はじめに「上太田地先の田んぼダム」、「赤目川A調節池」、「萱場地先の赤目川工事」、「一宮川第二増設箇所」4カ所の現地視察を実施した。

視察後は、「激特事業の状況及び今後の見通しについて」千葉県から説明を受けた。まず、瑞沢川の合流点から鶴枝川合流点区間における河道掘削、河道拡幅については、令和3年度から令和5年度まで用地補償交渉を実施、工事完了は令和6年度を予定している。同じく激特事業区間である、鶴枝川合流点から豊田川合流点については、市街地であり用地買収が難しい区間であることから、既存の用地内で護岸を2割から5分にする護岸法立て工事となる。今年度は8月から工事着手し完了は令和6年度を予定している。次に、第二調節池の増設については、40万立方メートルを増設するものであり、工事完了は令和5年度末を予定している。更に、支川の阿久川・豊田川等については、令和2年度より河川整備計画の変更を検討しており、令和4年度の事業化を目指し概略設計を行っており、工事完了は令和11年度を予定しているとのことであった。茂原市域における短期対策については、激特工事の進め方を工夫し、治水機能を早期に図ることを計画しており、具体的には、短期集中で竹木伐採、堆積土撤去の実施、暫定供用による治水機能の早期発現、避難体制強化に向けた河川監視体制の強化とのことであ

った。一宮川流域浸水対策特別緊急事業の目標については、令和元年の大雨と同規模の降雨による家屋及び主要施設の浸水被害ゼロを目指しているが、上流域・支川については、地元地域の意見を踏まえ床上浸水被害の解消を目標とした対策となるとのことであった。

次に、「赤目川改修事業の状況及び今後の見通しについて」説明を受けた。まず、南白亀川合流点から萱場橋までの4.2km区間の河川改修とB調節池の整備が完了しているところであり、現在は、中流部である萱場橋から上流600mの区間において、集中的に事業を実施している。今年度は、新手樋橋の架け替え工事と橋梁前後の護岸工事が完成する予定。また、来年度に実施予定の新桂島堰改築工事の着手に向けて地元と調整をしているとのこと。次に、計画容量10万立方メートル、面積4ヘクタールのA調節池については、池の周りの遮水壁工事については既に完了し、現在は掘削工事を実施している。今年度は、約8割程度の掘削が完了することから、来年度以降は調節池内の護岸工事及び越流堤の工事を進めていく予定とのことであった。

次に、市当局より「田んぼダムについて」説明を受けた。一宮川流域浸水対策協議会より、一宮川流域の自治会から田んぼダムについて積極的に推進してほしいとの意見が千葉県や茂原市に対して出されたとのこと。また、千葉県において、田んぼダムのメリット、デメリットを検証するため、耕作者の協力を得て、令和3年度より試験施工を考えているとのことであった。令和3年度はモデル地区として指定されている「早野水門集水区域」にて試験施工、解析モデルの構築を行い、モデル地区での流域対策案の作成や効果を算出する。令和4年度はモデル地区での結果をうけ、茂原市全体での流域対策案を作成し、検証や効果の算出を行う。令和5年度は茂原市での試行や検証を経て、流域全体での流域対策案を作成し、想定される効果の算出を行う。令和6年度は流域全体で流域対策の施行を開始するとのことであった。

本委員会では、住民の皆様が安心して暮らしていけるよう、引き続き千葉県や市当局と連携を図っていく。

## ○茂原駅周辺活性化特別委員会

【報告者】鈴木 敏文 委員長

### 委員紹介 (略)

本委員会では、昨年12月に委員会を開催し、茂原駅周辺の活性化に寄与する、「茂原駅前通り地区 土地区画整理事業」、「都市計画道路 桑原八千代線」並びに「商業について」の進捗状況等の報告を受け、調査研究を行った。

まず、茂原駅前通り地区土地区画整理事業の進捗状況については、令和3年度は、5棟の建物移転補償を実施、執行見込額は、3億9,735万円で、年度末の累計執行率は事業費ベースで45%、年度末の建物移転補償数は、全棟数267棟の内113棟で、補償率は42%となる見込みである。今後の整備方針としては、「高師町下井戸線」は、4箇所建物等の調査を行い、早期に着手できるよう新設道路整備の準備を進める。「ひこぼし線」は、今年度建物調査を2箇所実施し、来年度中に移転補償契約が出来れば、令和5年度から整備を進める。今後とも事業効果が形として目に見えるように、区域内を通る「高師町下井戸線」と「ひこぼし線」の早期完成を図ったうえで、土地利用の活性化につなげたいとのことであった。

次に、都市計画道路桑原八千代線の進捗状況について、本事業は、JR茂原駅北側の県道茂原長生線、富士見橋付近から、都市計画道路大芝鷲巣線までの総延長1,093m、幅員16mで、北から桑原地区、継続地区、野巻戸地区の3区間に分け、現在は桑原地区と継続地区を重点的に進めている。桑原地区においては、令和4年度に県道茂原長生線交差点の用地測量を実施し、令和5年度、6年度では、引き続き用地取得及び補償を進めていく。継続地区においては、今年度の一部の用地買収ができたため、工事を着手していく。また、係争のある事業用地の今後の買収については、共有者の代理人である弁護士と状況確認をしながら、用地の取得と工事を実施し、完成を目指していく。野巻戸地区においては、千葉県警と国道128号交差点接続部の変更協議及び、その結果に基づく事業認可変更を実施していくとのことでありました。これに対し桑原地区における、取付道路

の設計ができた際の地元自治会への説明や、事業認可期間内での事業完了に関する質疑がありました。

次に、商業について、本市の中心市街地活性化基本計画では、茂原駅前通り地区土地区画整理事業や街路事業を中心的事業としているが、厳しい財政状況の中では早急な計画の見直しが困難な状況であるとのことであった。そのような中で、補助金等の交付による活性化支援として商店街共同施設整備事業等補助金や商工業振興共同事業補助金等の交付を実施したり、「まちの活性化」のための空き家・空き店舗の活用プランの作成を千葉大学に委託し、その結果を活用し商業中心の活性化だけでなく、住居の促進、居住者の拡大を含めた中心市街地の活性化を目指していくとのことであった。

これらを踏まえ、本委員会としては、引き続き茂原駅周辺地域の現状並びに課題の把握に努め、事業の進捗状況を注視するとともに、関係部局との連携を保ち、関連事業の推進に向けて協議・検討していくこととした。

## 5. 意見紹介

### 【報告者】西ヶ谷 正士 議会運営委員会副委員長

市民より事前に寄せられた意見のうち、いくつか紹介していく。

はじめに、不登校対策に関する意見を紹介する。

「全国で小中学生が1人1台タブレット配布となったが、不登校の児童・生徒もタブレットが利用できるようにしてほしい。」という意見があった。

市議会としては、市当局の教育部門に対して、不登校対策の充実などについて、引き続き働きかけていきたいと考えている。

続いては、議員の活動に対する意見を紹介する。

「議員個人の活動報告について、自治会や後援会等に参加していないためか、市議会議員が、どんなマニフェストを実現させるため、活動しているのかわからない。議員活動を市議会のウェブページに掲載するか、ウェブページに各議員のSNS等のURLを掲載してほしい。」という意見があった。

市議会としては、より一層市民に開かれた、市民に信頼される議会を目指すとともに、議員個々の活動内容を伝えられるよう努めていきたいと考えている。

最後に、地域猫活動に対する意見を紹介する。

「猫の飼い方の意識向上を図ってもらいたい。避妊や去勢をせず、子猫が産まれるとすぐ捨てたり、屋外で多頭飼いするケースなどが見受けられる。避妊や去勢費用に助成金を出すか、割安で手術できる動物病院を設置してほしい。人間と動物が共生、共存できるよう、ぜひとも検討してもらいたい。」という意見があった。市議会としては、以前から一般質問などで地域猫について取り上げるなどしている。今後も積極的にはたらきかけていきたいと考えている。

## **6. 閉会のことば**

田畑 毅 副議長 (略)

## 7. アンケート集計結果

(1. 性別、2. 年代、3. 何で議会報告会を知ったか、4. 内容はどうだったか、5. 感想等)

### ①

1. 男性、2. 70代～、3. 議会だより、4. やや満足

5. 各委員会で真剣に取り組んでいることを確認できた。

委員長の発言音声ボリュームを最大に設定しても聞き取れない状況でした。

### ②

1. 男性、2. 70代～、3. 広報もばら、4. やや満足

5. IT機器の操作ができる人にとっては大変便利な情報収集の手段ですが、できない高齢者に対する「情報発信」の良い方法はないですか??

### ③

1. 男性、2. 60代、3. 市議会のホームページ、4. 普通

5. 言葉だけでなく資料を用いて説明した方が分かりやすい。

特に水害対策、茂原駅前整備計画などの場所を説明しているかが分かりにくい。

水害対策工事での入札状況等も知りたい。税金を使用しているので公平で透明な発注方法になっているのか。